

会 務 月 報

第402号

発行 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

■平成28年7月通常理事会議事概要

1. 日 時 平成28年7月20日（水）
13:30～15:00
2. 場 所 日事連会議室
3. 理事総数及び出席理事数 総数32名、出席数30名
4. 出席者及び欠席者の氏名
出席者
会 長 大内達史
副 会 長 富岡 學、佐野吉彦、佐々木宏幸、栗原憲昭、
遠藤正幸、岩本茂美
専務理事 居谷献弥
常任理事 伊藤光洋、植村吉延、岡村則満、小林忠志、
新沼義雄
理 事 相場 博、秋野卓生、大谷秀逸、金子敏夫、
神田重信、栗田政明、栗原信幸、児玉耕二、
鈴木兼次、鈴木勇人、富田 裕、西尾信次、
宮原浩輔、八島英孝、山木 茂、横須賀満夫、
吉田 敏
監 事 宮原克平、山下卓治
事 務 局 前田敏明事務局長兼総務課長、鈴木雅之広報企
画担当課長、千浜民子業務課長、
吉田茂調査役
欠席者
常任理事 堂田重明
理 事 澤木英二
5. 議 事

- (1) 議長の選任
大内達史会長が議長に選任された。
- (2) 議事録署名人の確認
定款第45条第2項の規定により、議事録署名人は以下の者であることが確認された。
大内達史会長、宮原克平監事、山下卓治監事
- (3) 議決事項
 - 1) 常任理事の互選について
事務局より資料1によって、関東甲信越ブロック協議会より、小林忠志常任理事（神奈川会会長）と栗原信幸理事（群馬会会長）の推薦について、栗原理事を常任理事に、小林常任理事を理事に交代したいとの申し入れがあった旨説明がなされた。
議長より、小林忠志常任理事を理事に、栗原信幸理事を常任理事にすることについて諮ったところ、異議なく承認した。
 - 2) 相談役の推薦基準にかかわる定款施行細則変更の承認の件
事務局より、資料2によって次の趣旨の説明がなされた。
7月6日の常任理事会で相談役の委嘱について協議した際、従来の規定では相談役が空席となってしまうため、相談役の推薦基準にかかわる定款施行細則の変更を行い、その様な事態を避けることとし、本日の臨時常任理事会で変更案を決定した。従来の規定では、副会長を2期（4年）以上つとめて退任した者のなかで適任の者としていたが、変更案は、理事を2期（4年）以上つとめ、かつ副会長を直前1期（2年）以上つとめて退任した者のなかで適任の者とした。ただし、通算就任期間は4年から2年とした。
議長より、相談役の推薦基準にかかわる定款施行細則変更について諮ったところ、異議なく、資料2のとおりこれを承認した。
 - 3) 副会長、常任理事、理事の職務等の承認の件
事務局より、資料3によって次の趣旨の説明がなされた。
副会長の順序については、会長に事故があったとき等に

備え準備するものであり、改選前の役職及び経験年数などを考慮した。また、定款施行細則第7条による理事の分担及び第23条による委員会の正副委員長については、日事連及び単位会での経験等を考慮した。なお、栗原憲昭副会長は日本建築士事務所政経研究会の会長を務めるため、委員会は担当しない。

議長より、副会長、常任理事、理事の職務等について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

4) 平成28・29年度常置委員会及び特別委員会の設置並びに正副委員長及び委員等の承認の件

事務局より、資料4によって次の趣旨の説明がなされた。

常置委員会は、各ブロックから推薦された委員6名及び正副委員長で構成するが、副会長5名が各委員会を担当する。特別委員会のうち、日事連建築賞選考委員会及び全国大会実行特別委員会は、選考及び企画等を行っている最中のため、原則委員は継続とし、基本問題検討特別委員会及び景観・まちづくり特別委員会の委員は、今般の役員改選等に伴い一部の委員を交代する案とした。

議長より、平成28・29年度常置委員会及び特別委員会の設置並びに正副委員長及び委員等について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

5) 平成28・29年度専門委員会及びワーキンググループの設置等の承認の件

事務局より、資料5によって次の趣旨の説明がなされた。

今般、継続設置する専門委員会及びワーキンググループ(WG)は、(1)業務・技術委員会のもとに①構造技術専門委員会、②建賠保険等調査専門委員会、③業務報酬基準WG、④建築士事務所のマネージメント支援ツール「JAAF-MST」維持管理WG、⑤既存住宅の活用に係るWG、⑥四会建築設計・監理等業務及び工事請負業務の契約書類対応WG、(2)広報・渉外委員会のもとに①会誌編集専門委員会、(3)教育・情報委員会のもとに①開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会テキスト改訂WGである。この他、総務・財務委員会傘下の①建築士事務所の

執務環境整備WGは、従来の検討事項に、Web会議及び会員増強を加えて活動する。②青年WG(仮称)は、10月以降に活動を始める予定である。一部の委員が未定であるが、単位会からの推薦等調整中である。

栗田政明理事より、建築士事務所のマネージメント支援ツール「JAAF-MST」維持管理WG及び既存住宅の活用に係るWGの主旨に自分が就く案となっているが、担当する委員会等が多いため、どちらか1つにしてもらえないかとの発言がなされたが、居谷献弥専務理事より、昨年度検討が済んでいるものもあり、両WGとも開催頻度は他のWGに比べ余り多くないことが予想されとの回答がなされた。

栗田理事がWG主旨への就任に理解を示したため、議長より、平成28・29年度専門委員会及びワーキンググループの設置等について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

6) 名誉会長及び相談役の委嘱の承認の件

事務局より、資料6によって次の趣旨の説明がなされた。

本日の協議事項2)の定款施行細則の変更承認を受け、名誉会長1名及び相談役2名の委嘱を提案するものである。

議長より、名誉会長及び相談役の委嘱について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

7) 平成28年度収支予算変更の承認の件

事務局より、資料7によって次の趣旨の説明がなされた。

平成28年度収支予算について、熊本地震への対応のため、次のとおり変更したい。

①「震災復旧のための震災建築物被災度区分判定・復旧技術者講習会」の熊本会会員の受講料相当補助のため、一般会計「予備費支出」から100万円を「講演講習会費支出」へ振替、②熊本会への義捐金支出100万円を、一般会計「予備費支出」から「渉外費支出」へ振替、③熊本会に設置した建築復興支援センターへ1,000万円を助成するため、一般会計事業費に「建築復興支援セン

ター事業支出」を追加、④平成27年度決算において「次期繰越収支差額」が確定したことによる各会計の「前期繰越収支差額」の補正

議長より、平成28年度収支予算変更について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

8) 平成28・29年度の理事会より常任理事会に委任する事項の承認の件

事務局より、資料8によって次の趣旨の説明がなされた。
通常理事会が年4回開催のため、事業実施の承認等が間に合わない場合に備え、あらかじめ常任理事会への委任事項を明確にするものである。なお、常任理事会が決定した委任事項は、理事会にその結果を報告し、承認を得なければならない。

議長より、平成28・29年度の理事会より常任理事会に委任する事項について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

9) 年次功労者表彰の承認の件

事務局より、資料9によって次の趣旨の説明がなされた。
平成28年度年次功労者表彰候補者は、表彰規程に該当する日事連推薦1名及び単位会推薦34名である。表彰は、10月7日開催の建築士事務所全国大会式典において行う予定である。

議長より、年次功労者表彰について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

10) 賛助会員入会承認の件

事務局より、資料10によって次の趣旨の説明がなされた。

イベント主催会社であるリード エグジビション ジャパン(株)より賛助会員入会申し込みがなされた。会費申込は1口、年15万円である。

議長より、賛助会員入会について諮ったところ、異議なく、これを承認した。

(4) 報告事項

1) 熊本地震対策本部の役員交代について

事務局より、日事連の役員改選に伴い、7月8日の正副会長会で資料11のとおり熊本地震対策本部の役員を交代したことについて説明がなされ、同副本部長に就任した岩本副会長より、九州・沖縄ブロック協議会等での支援・対応状況について報告がなされた。

2) (有)日事連サービスの役員について

事務局より資料12によって、6月22日の(有)日事連サービスの定時株主総会で選任された平成28・29年度の役員の報告がなされた。

3) 四会による建築物の設計、工事監理等にかかる業務報酬基準の見直し検討の要望について

居谷専務理事より資料13によって、日事連では、業務報酬基準の見直しを始めてほしいと考えていたが、今般、他の三会も一緒に要望したいということになり、国交省に対し業務報酬基準の見直し検討の要望書を提出するとの報告がなされた。

佐野吉彦副会長より、要望の文言で「報酬の目安となる業務報酬基準」とあるが、「目安」を入れると弱い印象を与える。要望ならもっと強い表現でもよいのではないかと発言があり、大内会長より、四会で検討済みのものなので、この内容で提出させてほしいとの発言がなされた。また、横須賀満夫理事より、告示第15号が出されたときから、要望書では目安という表現をしているので問題ないのではないかと発言がなされた。

4) 会員・構成員異動報告

事務局より、資料14によって平成28年5月及び6月の各月の会員及び構成員数等の報告がなされた。

<配付資料>

資料1：常任理事の互選について

資料2：相談役の推薦基準にかかわる「定款施行細則」の変更について（案）

資料3：平成28・29年度副会長、常任理事、理事の職務等について（案）

資料4：平成28・29年度常置委員会及び特別委員
会の設置並びに正副委員長及び委員等につ
いて（案）

資料5：平成28・29年度専門委員会及びワーキン
ググループの設置等について（案）

資料6：平成28・29年度名誉会長及び相談役の委
嘱について（案）

資料7：平成28年度収支予算の変更について他

資料8：平成28・29年度の理事会より常任理事会
に委任する事項

資料9：平成28年度年度次功労者表彰について

資料10：賛助会員入会申込書

資料11：熊本地震対策本部の役員交代について

資料11-2：熊本地震対策本部設置プレスリリース

資料12：(有)日事連サービスの役員について

資料13：建築物の設計、工事監理等にかかる業務報酬
基準の見直し検討要望書

資料14：会員・構成員異動報告書

■平成28年9月常任理事会議事概要

- 日 時 平成28年9月6日（火）
13：30～15：40
- 場 所 日事連会議室
- 常任理事会構成者総数、定足数及び出席者数
常任理事会構成者総数14名、定足数8名、出席者数13名
- 出席者及び欠席者の氏名
出席者
会 長 大内達史
副 会 長 富岡 學、佐々木宏幸、栗原憲昭、遠藤正幸、
岩本茂美
専務理事 居谷献弥
常任理事 伊藤光洋、植村吉延、岡村則満、栗原信幸、
堂田重明、新沼義雄
事 務 局 前田敏明事務局局長兼総務課長、鈴木雅之広報

企画担当課長、千浜民子業務課長

欠 席 者 佐野吉彦副会長

- 議 長
大内達史会長より議長について諮り、佐々木宏幸副会長を議
長に選任した。
- 議事録署名人
大内達史会長、佐々木宏幸副会長
- 議 事
(1) 専決事項
1) 平成28年度日事連建築賞の受賞者決定の件
事務局より、資料1-1によって応募数、選考経過及び
表彰等について説明がなされ、平成28年度日事連建築賞
の受賞者決定について諮ったところ、異議なく資料1のと
おり受賞者を決定した。
- (2) 協議事項
1) 第40回建築士事務所全国大会の運営等について
事務局より、資料2によって、大会当日の運営、正副会
長・常任理事の役割、大会参加費及び旅費の扱い、青年話
創会のアンケート結果等について説明がなされた。
協議の結果、大会当日の運営及び正副会長・常任理事の
役割について資料3の原案を了承した。
また、同日にリオ五輪・パラリンピックのメダリスト合
同パレードが銀座通りで行われ、混雑が予想されるため、
単位会に周知することとした。
- 2) 平成31年度第43回建築士事務所全国大会の主管会に
ついて
事務局より、資料3によって次の趣旨の説明がなされた。
平成23年10月に第36回建築士事務所全国大会を主
管会として実施する予定だった福島会が、和歌山大会の2
年後の平成31年度第43回の主管会を希望する旨、北海
道東北ブロック協議会を通じて本会宛資料3のとおり提出
された。

協議の結果、福島会を平成31年度第43回建築士事務所全国大会の主管会として了承し、11月通常理事会に提案することを決めた。

続いて事務局より、資料3-1によってこれまでの全国大会の開催状況及び全国大会の地方と東京の隔年開催の見直し検討状況の説明後、次の意見が出された。

- ・地方で開催すると、会員が増える、会員が結束する、地元社会に事務所協会を認知してもらう良い機会になる等のメリットがある。
- ・主管会では1人でも多くの会員が協力し、手作りでやることを基本とするべき。士会の大会でもその様にしている。費用のかかるイベント会社の使い方は、充分検討の余地がある。
- ・主管会の全単体会一巡に拘らず、会員数の少なさや財政の厳しさを楯に主管会をやりたいがらない単体会は、順番を飛ばしても良いのではないか。既に東京会及び北海道会が2度主管会を務めている。

協議の結果、総務・財務委員会で、直近3回程度の地方開催の収支状況を分析し、日事連の負担額を減らして地方開催が実施可能か単体会に調査することとした。

(3) 報告事項

1) 「適合証明技術者」講習及び「既存住宅現況検査技術者」講習の申し込み状況について

事務局及び居谷献弥専務理事より、資料4によって次の趣旨の説明がなされた。

平成28年度は、住宅金融支援機構適合証明技術者の新規・更新登録を行う年にあたり、前回の平成26年度と同様に、適合証明技術者業務講習と住宅瑕疵担保責任保険協会が行う既存住宅現況検査技術者講習も同時に実施した。

8月26日現在の適合証明技術者の申込数は3,784人、既存住宅現況検査技術者の申込数は2,446人で、それぞれ前年度末の79%、75%ほどである。申込者が減ったことで適合証明特別会計の財政状況が直ちに逼迫する訳ではないが、中

期的にははてこ入れ策や講習の実施について検討する必要があるかもしれない。

協議の結果、業務・技術委員会で検討していくこととした。

2) 「四会連合協定 建築設計監理等業務委託契約約款の解説」の発行と講習会の開催予定について

事務局より、資料5によって次の趣旨の報告がなされた。

「四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款調査研究会（四会研究会）」では、平成27年6月施行の建築士法改正に伴い、契約書類を改正し、併せて新たに戸建て住宅等の小規模建築物に対応する契約書類も作成した。平成27年1月には、四会研究会のもとに契約約款の解説書作成ワーキンググループを設置し検討してきたが、平成28年9月下旬に発行予定となった。この解説書を使用して10月中旬以降に単体会等で講習会を開催する。

堂田常任理事より、長期に渡る業務でも事務所に対し報酬の部分払いがほとんどなされておらず、支払等の資金繰りのために銀行借入れをせざるを得ない。公共工事については、せめて2-3カ月毎に支払う契約にしてもらえよう、佐々木副会長から国交省に要望してほしいとの発言がなされた。

3) 四会による建築物の設計、工事監理等にかかる業務報酬基準の見直し検討の要望について

居谷専務理事より、資料6によって次の趣旨の報告がなされた。

7月の常任理事会及び通常理事会で、国土交通省に本件の要望書を提出することを予告したところであるが、8月1日に住宅局長、住宅局官房審議官及び建築指導課長宛に提出した。本会からは大内会長及び佐々木副会長が参加し、住宅局長からは、今後前向きに検討を進めるが、事例等の収集に協力してほしいとの発言があった。

4) 非構造部材の安全性確保に向けてのJSCAの提言について

居谷専務理事より、資料7によって次の趣旨の報告がなされた。

本件について7月の常任理事会で協議したが、その後6団体で議論し、①冒頭の「提言の経緯」を「提言の趣旨」に、②提言本体に含まれていた参考例等を別紙とした。提言の内容自体は前回と変わっておらず、引き続き進めたい。

5) 熊本地震にかかる建築復興支援センターの報告について

熊本地震対策本部副本部長の岩本副会長より、7月28日及び8月25日の熊本会との意見交換会の内容、戸建木造住宅一般耐震診断業務の報酬、建築復興支援センターの収支状況等について報告がなされた。

6) 会員・構成員異動報告

平成28年7月末の会員及び構成員数等が、事務局より次のとおり報告がなされた。単位会別構成員数等は資料9のとおり。

平成28年7月31日現在 正会員46団体、構成員14,793事務所、賛助会員5社

7) 後援名義等使用の催物について、事務局より資料10により報告がなされた。

8) 経過報告について、事務局より資料11により報告がなされた。

9) 事務局より、日事連建築賞の対象にリフォーム・リノベーションを追加するか今後検討するので、資料1-2を参考に配布した旨説明がなされた。

<配付資料>

資料1-1：平成28年度日事連建築賞の受賞者決定について

資料1-1：日事連建築賞の対象建築物（リフォーム・リノベーション等）について

資料2：第40回建築士事務所全国大会（東京開催）の運営について（案）他

資料3：平成31年度第43回建築士事務所全国大会の福島開催について（お願い）他

資料3-1：全国大会の地方と東京の隔年開催について
他

資料4：平成28年度適合証明技術者登録の新規・更新の受付と既存住宅現況検査技術者講習の同時講習の申し込み状況について

資料5：「四会連合協定建築設計・監理等業務委託契約約款解説書」の発行と講習会の開催予定について

資料6：建築物の設計、工事監理等にかかる業務報酬基準の見直し検討要望書

資料7：非構造部材の安全性確保に向けての提言

資料8：日事連・熊本地震にかかる建築復興支援センター報告他

資料9：会員・構成員異動報告等

資料10：後援・協賛名義使用の件

資料11：経過報告

■会誌編集専門委員会議事概要

日 時 平成28年8月4日（木）14：00～16：00

場 所 日事連会議室

出席者 委員長：澤崎 宏 副委員長：小泉 厚

委 員：宇塚幸生、佐藤光良、鈴木 剛、三谷滋伸、丸川真太郎

広報・渉外委員長：植村吉延

オブザーバー：(株)ジェイクリエイト - 城市奈那、太田正人

事務局：居谷、前田、鈴木、三浦

<配布資料>

資料1：会誌編集専門委員会の活動状況について

資料2：平成28年9月号台割

資料3：平成28年10～12月号台割（案）

参考1：平成28・29年度 会誌編集専門委員会名簿

参考2：平成28年度年間台割表

議 事

1. 委員長及び委員自己紹介
平成28・29年度委員変更に後第1回目の委員会のため、委員長・副委員長・各委員より自己紹介を行った。
2. 会誌編集専門委員会活動状況について
事務局より資料1により委員会の活動状況についての説明を行った。
3. 前回委員会以降発行の会誌（7月・8月号）の掲載内容についての意見交換
直近発行の会誌7月号及び8月号の掲載内容について、各委員より感想を述べ、意見交換を行った。
4. 平成28年9月号の編集作業状況報告
○ジェイクリエイトより、特集「地域図書館の魅力」の企画内容について資料1により説明がなされた。表紙写真は手配中のため、後日事務局を通じて表紙案をメールで送付し委員に諮ることとする。
○ブックデビュー（レビュー）は、神子氏書評による「現代建築のトリセツ」（松葉一清）、「なぜぼくが新国立競技場をつくるのか」（隈研吾）、「人が集まる建築 環境×デザイン×こどもの研究」に加え、特集に合わせ「世界の美しい図書館」を取り上げることとした。
5. 平成28年10～12月号の特集企画の確認、検討
ジェイクリエイト及び事務局より資料3により説明がなされ、協議した。
○10月号の特集は「日事連建築賞」で、単位会主催の建築賞も紹介する。
○11月号の特集は「加速する観光化（仮）」である。
委員より、オフィスビル・伝統建築物・民家等のリノベーションをとりあげたらどうかという意見が出された。
○12月号の特集は「建築士事務所全国大会」である。
 - ・山梨知彦氏の講演について
委員長より、日建設計常務を通じて使用したスライド等画像を掲載させてもらえるよう依頼することとした。（事務局も講演者に依頼する。）
 - ・大会式典について
会長以外の挨拶については要約する。
○1月号の特集は「洋館名鑑」と「年男・年女の初夢」
「年男・年女の初夢」は例年の依頼に加え、各単位会の青年部会に依頼する。
○連載「美術館・博物館巡り」について
 - ・10月号は福井会に依頼中。
福井会より提出がない場合は、佐藤委員が「山梨県立美術館」の執筆をすると申し出があった。
 - ・「国立西洋美術館」
委員長より、コア東京（東京会会誌）でも掲載予定とな

ったため、山名教授（東京理科大学）に世界文化遺産登録の苦労話を書いてもらえないか東京会にも確認し調整する旨発言があった。（11月号）

- ・「芹沢銈介美術館本館」（静岡）の執筆者を鈴木委員が手配する。（12月号予定）

○連載「訪ねてみたい街ガイド」の執筆者を三谷委員が手配する。（10～12月号近辺の号）

○「日事連建築賞受賞事務所訪問」を11月号～6月号（予定）で連載する。

取材は前回と同様、千葉利宏氏（経済ジャーナリスト）に依頼する。

6. その他

○次回委員会は通常どおり日事連事務局で行うが、次々回12月の委員会はWeb会議で開催する。

○次回日程 10月13日（木）15:00～17:00
2月号以降の特集・連載企画について協議する。
企画案について、委員会前に事務局に送付する。

■主な行事予定

※行事日程は中止・変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

平成28年

9月27日 業務・技術委員会

10月 7日 青年話創会2016（銀座東武ホテル）

第40回建築士事務所全国大会（帝国ホテル）

12日 景観・まちづくり特別委員会

13日 会誌編集専門委員会

平成28年8月末 会員・構成員異動報告等

1. 期 間 平成28年8月 1日～8月31日
 2. 会 員 在 籍 正会員 46団体 構成員 14,804事務所
 賛助会員 5社

単位会	構成員		建築士事務所登録		賠償責任保険		
	増 減	入会数(A)	登録数(B)	加入率(A/B)	増 減	加入数(C)	加入率(C/A)
北海道		1,032	4,545	22.7%	+ 1	243	23.5%
青 森	+ 2	181	961	18.8%		39	21.5%
岩 手		275	1,056	26.0%		67	24.4%
宮 城		361	2,099	17.2%		74	20.5%
秋 田		144	1,115	12.9%		43	29.9%
山 形		177	1,199	14.8%		55	31.1%
福 島		229	1,647	13.9%		64	27.9%
茨 城	+ 4	504	2,118	23.8%		150	29.8%
栃 木		174	1,417	12.3%		84	48.3%
群 馬		189	1,795	10.5%		93	49.2%
埼 玉		505	5,063	10.0%		119	23.6%
千 葉	+ 1	416	3,553	11.7%	- 1	119	28.6%
東 京		1,552	15,564	10.0%	+ 4	527	34.0%
神奈川	+ 1	778	6,311	12.3%	+ 1	198	25.4%
新 潟		324	2,408	13.5%		132	40.7%
長 野		434	2,241	19.4%		120	27.6%
山 梨		107	853	12.5%		9	8.4%
富 山		303	1,283	23.6%	+ 1	58	19.1%
石 川		293	1,324	22.1%		53	18.1%
福 井		229	1,023	22.4%		54	23.6%
静 岡	- 1	437	3,258	13.4%	+ 1	134	30.7%
愛 知	+ 3	554	5,218	10.6%		128	23.1%
三 重		188	1,293	14.5%		66	35.1%
滋 賀		183	1,182	15.5%		33	18.0%
京 都		329	2,187	15.0%		90	27.4%
大 阪		784	6,603	11.9%	+ 1	189	24.1%
兵 庫		423	3,637	11.6%		106	25.1%
奈 良		109	952	11.4%		23	21.1%
和歌山		120	797	15.1%		25	20.8%
鳥 取		96	503	19.1%		46	47.9%
島 根		128	707	18.1%		67	52.3%
岡 山	- 1	399	1,548	25.8%		63	15.8%
広 島		342	2,401	14.2%		124	36.3%
山 口	+ 1	115	1,100	10.5%		36	31.3%
徳 島	+ 2	101	885	11.4%		15	14.9%
香 川		102	1,134	9.0%		17	16.7%
愛 媛		157	1,220	12.9%		37	23.6%
高 知		140	655	21.4%	+ 1	26	18.6%
福 岡	- 2	466	3,808	12.2%		150	32.2%
佐 賀		177	631	28.1%		33	18.6%
長 崎		247	862	28.7%		43	17.4%
熊 本		221	1,326	16.7%	+ 1	96	43.4%
大 分		144	945	15.2%		38	26.4%
宮 崎		121	1,089	11.1%		55	45.5%
鹿児島		319	1,327	24.0%		85	26.6%
沖 縄	+ 1	195	1,306	14.9%		58	29.7%
計	+ 11	14,804	104,149	14.2%	+ 10	4,084	27.6%

※建築士事務所登録数は平成28年3月末日現在の数字である。